

教点連ニュース 平成 24 年度 第 1 号 No. 19

平成 24 年 5 月 2 日

【平成 24 年度第 1 回総会・セミナーのご案内】

《総会》の開催

日時：平成 24 年 6 月 23 日（土）11 時～12 時

場所：日本点字図書館 3 階多目的室

議題：①平成 23 年度事業報告および決算の承認

②平成 23 年度監査報告

③平成 24 年度事業計画および予算の承認

* 総会にご欠席の会員の方は、同封の委任状を事務局にお送りください。

《セミナー》

日時：平成 24 年 6 月 23 日（土）13 時～16 時半

場所：日本点字図書館 3 階多目的室

169-8586 新宿区高田馬場 1-23-4

テーマ：視覚障害児童の点字習得の支援と実践

司会：高橋實理事

プログラム：13:00～13:10 挨拶 田中徹二理事長

13:10～14:00 総論 牟田口辰己理事

14:00～15:00 体験発表

パネリスト 山岸尉泰氏（当事者の立場から）

小汐誉氏（視覚障害児の親の立場から）

古川聖子氏（点訳者の立場から）

15:00～15:20 休憩

15:20～15:50 講演 「文科省特別支援教育のあり方に関する特別
委員会の報告」 石川准特特委委員長代行

15:50～16:20 質疑応答 進行：加藤俊和理事

16:20～ 挨拶、閉会

お申し込み・お問い合わせ：日本点字図書館（担当・松本）

電話 03-3209-0241 FAX 03-3204-5641

* セミナーにご出席の方は、必ず事前に、氏名、所属名、連絡先を明記のうえ、ファックスかメールにてお申し込みください。

【文部科学大臣政務官に要望】

2月1日、込山光弘理事の紹介で衆議院文部科学委員長の石毛鏡子委員長に込山さんと一緒に会い、点字教科書の供給について陳情してきました。

その結果、石毛議員のご紹介で神本美恵子文部科学大臣政務官に要望する機会に恵まれ、4月12日、文部科学省の神本政務官室を訪問しました。

神本政務官は科学担当ということで、教育担当の城井崇政務官も呼んでくださっていました。石毛議員も同席してくださり、約30分間、要望書を手渡すとともに現状について説明しました。教科書課と特別支援教育課の担当者が4人ほど同席し、政務官の質問に答えていました。

結論としては、平成23年度には1回も開かれなかった意見交換会の再開や要望について検討していくということになりました。

今後担当者がどう具体化していくか注目されるところです。

※意見交換会を近く再開したいという連絡がありました。

《神本政務官への要望書》

平成24年4月12日

文部科学大臣政務官

神本美恵子先生

NPO 全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

理事長 田中徹二

NPO 日本点字技師協会 理事長 込山光広

一般校で学ぶ盲児童・生徒のための点字教科書製作体制の整備を望みます

国連が制定した「障害のある人の権利に関する条約」には、①障害者が障害に基づいて一般的な教育制度から排除されないこと、②障害者は、他の者との平等を基礎として、自己の生活する地域社会において、教育を享受することができること、③個人に必要とされる合理的配慮が提供されること、④点字及び移動のための技能の習得並びに障害者相互による支援及び助言を容易にすること、⑤点字について能力を有する教員（障害のある教員を含む。）を雇用し、並びに教育に従事する専門家及び職員に対する研修を行うための適切な措置をとる、などを規定しています。この条約を批准する前に、各省庁は、関連法律の整備に着手していますが、遅々として進んでいないのが現状です。

この中で、私どもの法人に最も関係の深いのが、一般校で学ぶ盲児童・生徒の点字教科書の供給体制です。盲学校（特別支援学校）で使用される点字教科書は、文科省が検定教科書から特定の1冊を選び、目の見えないことを配慮し編集したものを、点字出版所が製作し供給しています。それらに関する経費は、すべて文科省が予算化しています。

ところが、一般校で学ぶ盲児童・生徒の教科書は、盲学校用点字教科書の原本と一致しているとは限りませんので、ボランティアが1冊1冊点訳しているのが現状です。都道府県の教育委員会を通じて文科省に申請すると、若干の点訳料がボランティアに支払われます。しかし、点訳された教科書が、目の見えないことを配慮し、的確に点訳されているという保障はありません。

こうしたことを話し合うために、文科省教科書課は、平成21年1月に「点字教科書の普及に関する意見交換会」を発足させ、21年度は3回、22年度2回の会議を開きましたが、23年度は1回も開かれませんでした。

しかし、この会議は文字通り「意見を交換する」だけで、話し合われた内容を積み上げてなんらかの結論を出すというものではありません。

こうした状況を踏まえ、私たちは次の各点を要望します。

1. 「点字教科書に関する意見交換会」を検討会議に格上げし、政策に反映するなんらかの結論を導き出せる会議にしてください。
1. 一般校で学ぶ盲児童・生徒用点字教科書が、目の見えないことを配慮した的確な教科書になるような編集方針を確立してください。
1. その編集方針に基づいた点字化作業が的確に行えるように、点字出版所等に依頼する体制を確立してください。

【平成23年度第4回理事会記録】

日時：平成24年3月2日（金） 13時半～17時

場所：日本点字図書館会議室

参加者：田中、池村、加藤、込山、鈴、高橋（支援センター）、長岡、野々村、福山、古谷、松崎、三上、牟田口、奥野、松本

内容：

1. 教科書点訳マニュアルの製作について

日本点字技能士協会に協力依頼し、小中学校の各教科の原点教科書および著作本編集方針を見て、マニュアルで取り上げる内容をまとめてもらうことになった。その後、まとめられた内容を、各教科の責任者に依頼し、原稿をチェックしてもらう。

担当執筆者：社会：柏倉氏、理科：鳥山氏、算数・数学：大内氏、国語：牟田口氏、英語：田中氏

【マニュアルの内容について】

- ・国語、算数の盲学校用副教材も合わせて紹介する。
- ・珠算の使用、英語略字点字の紹介を掲載する。
- ・原本のコピーと点訳例を両方掲載する。なお、点訳例には、墨点字も併記するとよい。
- ・点図など微妙なずれが生じると困るので、PDFデータにして印刷に出した方がよい。

【今後の予定】

4月末までに原稿まとめ→担当責任者のチェック→理事確認→編集・印刷カラーを含めた印刷で、500部作成→東京都・コロニーに印刷依頼。

【その他の案】

印刷部数が限られるため、PDFデータをCDで希望者に配布してはどうか。

2. 平成24年度第1回セミナーについて

上記のとおり

3. その他

- ・新宿区税務署より、これまでの講師謝礼の源泉について指導があった。→今後は講師謝礼を支払う際、当会で源泉した金額を講師にお渡しする。なお、これまでの源泉徴収税として、18878円を税務署に納めた。
- ・平成24年度のアンケート実施について：平成24年度は中学校用教科書が改定となったこともあり、なるべく早い時期に調査を行う。→4月初旬に実施された。
- ・平成24年度第2回セミナーの予定：11月23日(金、祝)か、24日(土)に名古屋で開催する。

【事務局からのお知らせ】

<会費納入のお願い>

24年度会費を同封の振替用紙にてご納入ください。

振込口座番号：00180-7-262151（個人・ポ団体=5,000円/施設2万円）

加入者名：全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

よろしくお願いいたします。なお、総会の際にお支払いいただいても結構です。

発行日：平成24年5月2日

発行所：NPO法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

ホームページ：<http://kyotenren.web.fc2.com/>

発行人：田中徹二

連絡先：(社福)日本点字図書館 担当：田中・松本

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：matsumotom@nittento.or.jp

振込口座番号：0180-7-262151